事業類型 V 1次評価のみ対象分 事務事業評価シート 事業種別 継続 単独 施設の管理・運営

	コード		名	称		区分	コード		名	称						
事業名	843	防災関係経費				会計	01	一般	会計							
尹未石	040	则 及因际柱员	款		総務費											
基本施策	15	自然災害等への十分な備えをする	項	01	総務管理費											
基平肥果	10	日然火音等への十万な哺んでする	J			目	20	防災	費							
施策	to the state of th								防災対策経費							
ル 東	*	連絡・通新体制の確保				細々目	01	防災	関係経費							
基本計画	該当頁	93	担当部課	コード	700100		評価	者	福永 保	連絡先	47 –	1150				
行革大綱の重	点事項番	묵	担目的味	名称	大山田支所総務振興課		氏 名		恒水 沐	建裕元	(内線)	230				

事業の計画・内容

	*	の計画	'M#													
	+				対象等(何が、	誰が)		成果(どうなるのか)								
	事業目的	地区の	住民				防災行政無線機器等の保守点検を行い、非常時等の早急な災害情報の伝達・収集に備えることができ、迅速な避難行動が取れるようになる。									
	נים				(※対	対象件数)										
	開始	台年度	平成	年度	関連事業											
П	終了	了年度	年度													
	耒山	戸別受	信機修繕	ま(移動系)の テムの保守	維持管理		変	伊賀市全体の防災行政無線としてのデジタル固定系の整備とともに、既存する各種の防災行政無線設備の維持管理の実施。 また平成19年度から固定系防災行政無線の保守点検を本庁一括で実施した。								

整備内容

THE PRO 1 1 PM	
1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	1

連宮体制	
1 運営主体	□ 直営 □ 指定管理 ☑ 民間委託等
委託先	(中部電子システム(株)、パナソニックSSエンジニアリング(株))
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	
	委託先 2 配置(予定)人員 3 年間運営費

事業実績

下木大帆								
活動指標	単位		実績	責値	目標値			
/口到月17示	- 平位		H18		H19	H20	H21	
移動系無線施設の保守点検回数		目標	_	目標	2	2	2	
19到水黑脉池成07床5点次回数	1	実績	2	実績	2	2		
移動系無線施設点検台数	台	目標	_	目標	8	8	8	
79到不無		実績	8	実績	8	0	0	
		目標		目標				
		実績		実績				
		目標		目標				
		実績		実績				
		目標		目標				
		宝结		宝结				

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位		実終	責値	目標値			
争未の成木を刺る拍標	担保設定の考え力	単位		H18		H19	H20	H21	
戸別受信機設置普及率	各世帯への早急な情報伝達を可能とする。	04	日標	84	目標	85	85	85	
户列文语成改旦自及华	合世帯への手忌な情報伝達を可能とする。	70	実績	84	実績	84	00	່	
適正稼働率	24時間365日常時稼動を担保する	04	目標	100	目標	100	100	100	
迪正 豫剛平	24時間303日吊時隊到で担体する	70	実績		実績	100	100	100	

評価項目についてのコメント 必要性 4 災害時に市民への迅速な情報提供を行う必要があり、それを一斉に行なえる機器として、市民の安全確保のためにも不可欠である。 有効性 災害時に備えた情報伝達・情報収集手段として有効。 達成度 戸別受信機未設置世帯への取付や戸別受信機の点検(電池交換等)の周知を行う必要がある。 効率性 3 固定系無線の本庁一括での保守点検の契約が実施できた。移動系については常に非常時に対応できるよう保守点検を行う必要があり経費の削減は難しい。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
Α	現状維持	災害時には有効な情報収集・伝達手段であり、デジタル化を含め市としての一体的な計画が必要である。

	年度						平成18	内容	平成19	平成19年度 決算内容				平成20年度 計画内容					平成21年度 計画内容			
	十尺						事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額
進										(千円)				(千円)				(千円)				(千円)
	委託	K =	KZ				修繕料			100	修繕料			78	修繕料			50	修繕料			50
捗		٧	X			-	防災機器保守点検委託料			1,387	防災機器保守点検委託料			254	防災機器保守点検委託料			269	防災機器保守点検委託料			269
			. \			争	システム保守委託料			496	システム保守委託料			497	システム保守委託料			498	システム保守委託料			498
状	工事		\bigvee	$\langle \cdot \rangle$		井内	回線使用料			91	回線使用料			86	回線使用料			91	回線使用料			91
			7	™		容	その他			34	その他			35	その他			88	その他			88
況						т																
道	捗率																					
	(%)						事業費計(A)		Σ	2,108	事業費計(A)		Σ	950	事業費計(A)		Σ	996	事業費計(A)		Σ	996
事業投入人員							人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880
フルコスト (A)+(B)										5,708				3,830				3,876				3,876

 事業費(人件費除く)の財源内配

 (A)
 事業費
2,108 950 996 996 Aの財源内訳 県支出金地 方 債 受益者負担 その他 計 特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等 996 2,108 950 996